豊田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	情報基礎	
科目基礎情報						
科目番号	31114		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	インターネット社会を生きるための情報倫理 改訂版, 実教出版 ISBN: 978-4-407-34621-3					
担当教員	稲垣 宏					
到達目標						
(ア)情報伝達システムの考え方, および情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し, 活用できる。 (イ)情報技術の進展が社会に及ぼす影響, および個人情報保護法や著作権法などの法律との関連について理解できる。 (ウ)インターネットの仕組みを理解し, 実践的に使用できる。 (エ)情報セキュリティの必要性や, コンピュータを扱っている際に遭遇しうる様々な脅威の実態とその対策について理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	ネットワーク, 電子メールの基本的な仕組みを理解しており, 第三者に対して説明ができる。		ネットワーク, 電子メールの基本的な仕組みを理解している。		ネットワーク, 電子メールの基本的な仕組みを理解できていない。	
評価項目(イ)	ネットワークセキュリティや著作権, エチケット, 脅威について理解し, 第三者に説明できる。		ネットワーク社会でのセキュリティや著作権, エチケット, 脅威について理解している。		ネットワーク社会でのセキュリティや著作権, エチケット, 脅威について理解できていない。	
学科の到達目標項目との関係						
本校教育目標 ⑤ 技術者倫理						
教育方法等						
概要	コンピュータおよびインターネットに対する付き合い方について, 「技術」だけではなく, 「法律」や「モラル」, 「社会への影響」といった多様な観点から学ぶ科目である。					
授業の進め方・方法	多くの事例紹介を通して, 自らの考えをまとめ, 発信する。それにより, メディアリテラシーの向上を図る。					
注意点						
選択必修の種別・旧カリ科目名						
選択必修2 旧カリ科目名: 情報倫理						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		
☒ 実務経験のある教員による授業						
必履修						
授業計画						
	週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1週	情報倫理とは(シラバスの説明)、現代の情報社会に至るまでの歴史的背景		情報通信技術と倫理との関わりを理解できる。		
	2週	インターネット社会の良し悪し, 情報の性質		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し, 活用できる。		
	3週	情報の受信者・発信者としての責任(情報の信頼性)		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し, 活用できる。		
	4週	情報の受信者・発信者としての責任(情報の信頼性)		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し, 活用できる。		
	5週	情報の受信者・発信者としての責任(情報の信頼性)		報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し, 活用できる。		
	6週	まとめ: インターネット社会の良し悪し, 情報の性質, 情報の信頼性		情報の意味と情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を理解し, 活用できる。		
	7週	個人情報の取り扱い(個人情報の流出と保護)		個人情報保護法や著作権法などの法律との関連について理解できる。		
	8週	インターネットにおける知的財産(著作権)		個人情報保護法や著作権法などの法律との関連について理解できる。		
	2ndQ	9週	インターネットにおける知的財産(著作権)		個人情報保護法や著作権法などの法律との関連について理解できる。	
		10週	インターネットにおける知的財産(著作権)		個人情報保護法や著作権法などの法律との関連について理解できる。	
		11週	まとめ: 個人情報の流出と保護, 著作権		個人情報保護法や著作権法などの法律との関連について理解できる。	
		12週	インターネット・コミュニケーション インターネット上でのトラブルと犯罪		電子メールやWebのしくみを説明することができるとともに, マナーやルールについても理解している。	
		13週	スマートフォン利用による生活スタイルの変化, 健康面への影響		スマートフォンの普及による生活の変化や健康面への影響について説明できる。	
		14週	情報セキュリティ技術		情報セキュリティの概要について説明できる。	
		15週	コンピュータへの脅威, インターネット上の犯罪例		コンピュータ被害の実例について説明できる。	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	

基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)および 技術史	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)および 技術史	情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3	
				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3	
		情報リテラシー	情報リテラシー	情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	4	前9
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	4	前3
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	4	前6,前8,前10
		インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	4	前6,前8,前10		
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つのメールツールとWebブラウザを使って、メールの送受信とWebブラウジングを行うことができる。	4	前5
				コンピュータウイルスやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。	4	前10
				コンピュータを扱っている際に遭遇しうる脅威に対する対策例について説明できる。	4	前10
				基本的な暗号化技術について説明できる。	4	前9
				基本的なアクセス制御技術について説明できる。	4	前9
				マルウェアやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。	4	前10

評価割合

	定期試験	小テスト	合計
総合評価割合	40	60	100
基礎的能力	40	60	100